

# 汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

## 1. 利用情報

教育機関名	徳山工業高等専門学校		
学部・学科名	情報電子工学科		
コース名・講座名等	ソフトウェア工学		
対象学年・受講者数	4	年次	42 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)
講座実施期間	2014年 4月 ~ 2014年 8月		
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ <input type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ <input type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ <input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ		
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	<b>1. 利用したコンテンツ</b>		
	<input type="checkbox"/> ①シラバス	<input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例	
	<input type="checkbox"/> ②講義スライド	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド	
	<input type="checkbox"/> ③講義ノート	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④演習課題	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨ソースコード	
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤各種設計書		
	<b>2. コンテンツの利用方法について</b>		
	<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用		
	<input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用	(利用範囲) 演習課題仕様書(第2章)、各種仕様書、ソースコード ..... .....	
	<input type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用	(改変範囲) ..... .....	

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
単元と時間配分(1コマ= 100分で実施)		プルダウンで該当項目を選択してください	
* 短期集中講座の場合は、日単位で結構です		講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元でのコンテンツ利用の有無
1	システム開発(1コマ)	座学	無
2	ソフトウェア開発工程。プロジェクト管理。(1)	座学	無
3	要求分析。ニーズ概要(1)	チーム演習	有
4	構造化分析(1)	座学	無
5	要件定義(2)	チーム演習	有
6	外部設計(2)	チーム演習	有
7	内部設計(2)	チーム演習	有
8	プログラミング(2)	チーム演習	有
9	テスト(2)	チーム演習	有
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	ソフトウェア開発工程で作成されるドキュメントの具体的な例を紹介する。
講座の位置づけ 学生の履修前提条件	前提知識は、C言語でプログラミングできること。本講義で一般的なシステム開発工程を学んだ後、創造演習・創造製作という講義で、学生が企画したシステムやソフトのアイデアを仕様書・設計書にまとめ、実装していく。
授業の進め方	講義の流れは教科書に沿う。1コマ100分のうち、前半の50分で各工程等の説明を行い、後半の50分で演習を行う。
産学連携で実施した場合の 企業支援内容 (該当の場合のみ)	

## 2. 講座実施後の情報

受講者の感想 (本講座で得られたもの)	成果物のレベルが複雑であると答えた学生が32%、演習内容が役立つと答えた学生が49%であった。
教員の評価	システム開発経験が全くない学生が、機能要件リスト等仕様書や設計図を作成するのはむずかしいと感じた。ドキュメントの例として提示するにとどめるものが多い。
今後の展望 (継続に向けた課題)	学生に興味を持たせるために、システム開発の成果物を例として提示するだけでなく、学生でも作成できる部分の抽出あるいは作成方法を検討したい。

その他(ご意見等)	
-----------	--